

東京秋工会会報

KANASA

金砂

VOL.6

1998



東京秋工会

秋田県立秋田工業高等学校同窓会
東京支部

校歌

校歌

一、 太平山の凜たる勇姿

清河旭の淀まぬ心

勤勞の精 質実の徳

金砂健児の指さす所

希望の光 世界を輝す

二、 物皆凍る寒風おろし

身を焼く炎暑何かはあらん

剛健の意気 不断の努力

金砂健児の勢い見よと

黒煙日毎 天へと沖す

三、 進みて止まぬ科学の力

我が身に体し工業界の

未来の使命肩にと担う

金砂健児が御国に誓う

忠誠これぞ 不滅の力



秋工正門



東京秋工学会会長 澤木 誠一（昭26 電気科卒）
澤木萬國特許事務所 所長弁理士

東京秋工会の皆様、益々お元気にてご活躍のことと存じます。

昨年は秋田新幹線「こまち号」が開通し、秋田県の「花まる」運動も始まりました。

本年は秋田北空港（大館・能代空港）が開港、私は在京秋田県高校同窓会連合会「秋高連」の会長として、7月28日の一番機で秋田を訪問して参りました。また10月21、22日の両日には秋田市出身者及び秋田市の高校同窓会の会である「けやき会」主催の秋田市訪問の行事に東京秋工学会代表の一人として同行することとなっております。

近頃は「秋高連」や「けやき会」等、学校単位ではなくそうした連合会組織が活発に活動して、秋田の活性化を図っております。

さて、母校は来年95周年を迎えることとなり、準備も始まっていますが、そのセレモニーとして同窓会館10周年パーティーが計画されているようです。東京秋工会としましては、例えば90周年の時開催した秋田での本部同窓会との合同ゴルフ大会のようなイベントを企画したいと思っておりますので、その節は宜しくご協力下さるようお願い致します。

私共支部同窓会の使命の一つは、支部会員同士の親睦を図るとともに、母校の発展に寄与するための活動を行うことにあります。そのためにも、東京秋工会の総会には多数の方のご出席を戴くことを念願しておりますが、どこの高校の同窓会も

出席者数向上に苦勞しております。

先頃「秋高連」では24の各高校同窓会からアンケートの回答をいただきましたが、総会出席者が100名程度の同窓会が15校と、一番多いことが判りました。これに比べると東京秋工会の出席者数は若干少ないようですので、これを増やすための対策を考えたいと思います。

その一つとして勤務先を付した出席者名簿を作ることを考えております。同窓会出席者は、互いの職業に関係のある方に積極的にコンタクトできるようになります。また、自己PRしたい方のための時間帯を設けることに致します。若い方も遠慮なくどんどん発言して戴きたいと思っております。

ある程度確実な情報によりますと、今年の母校ラグビー部は希望を持てるとのことです。今総会の時までには、より正確な情報をもたらさせると思いますが、やはり秋工はラグビーを差し置いて語る訳にはいきません。久し振りでの全国大会制覇を念願する次第です。

私は現在、秋田県のAターンアドバイザーに任命されておりますが、この制度は首都圏で生活しております方々で（秋田県出身者以外も含む）、事情があつて秋田での生活を希望する方に、無料で有利に就職をお世話する制度です。ご利用を希望される方は、TEL:03-3213-7788「Aターンプラザ秋田」（有楽町交通会館内）にご連絡ください。

会務報告

●会務報告●

平成9年10月1日～平成9年8月31日

- | | | | |
|-------|-----|--------|-------------------------------------|
| 平成9年 | 10月 | 23~25日 | * 秋高連による秋田県庁等の訪問／澤木会長参加(訪問団団長) |
| | 11月 | 7日 | * 幹事会／於 澤木事務所 |
| | | 11日 | * けやき会(在京秋田市出身者の会)運営委員会／澤木会長他出席 |
| | | 14日 | * 東京秋工会総会／於 東京プリンスホテル |
| | | 18日 | * けやき会市政報告会／澤木会長他14名出席 |
| | | 28日 | * 秋高連忘年会／澤木会長他有志出席 |
| | 12月 | 3日 | * 第12回東京秋工ゴルフ会コンペ／於プレジデントカントリークラブ |
| 平成10年 | 1月 | 28日 | * 秋田県主催新年会／澤木会長出席 |
| | 2月 | 1日 | * 秋田県人会新年会／澤木会長出席 |
| | | 3日 | * 秋高連役員会／澤木会長出席 |
| | | 18日 | * 幹事会／於 澤木事務所 |
| | | 21日 | * 秋田文化フォーラム(ひえばなの会)／幹事有志出席 |
| | 3月 | 20日 | * 秋高連役員会／澤木会長出席 |
| | | 24日 | * けやき会(在京秋田市出身者の会)運営委員会／澤木会長他出席 |
| | | 26日 | * 東日本高校選抜ラグビー・決勝(於 秩父宮・優勝)／斎藤副会長他応援 |
| | | 27日 | * 秋高連委員会／澤木会長出席 |
| | 4月 | 12日 | * 秋田県人会総会／澤木会長他出席 |
| | 5月 | 8日 | * 秋高連役員会／澤木会長出席 |
| | | 14日 | * けやき会(在京秋田市出身者の会)運営委員会／澤木会長他出席 |
| | | 19日 | * 幹事会／於 澤木事務所 |
| | 6月 | 6日 | * 秋工東海支部同窓会総会／太田幹事出席 |
| | | 7日 | * 秋工関西支部同窓会総会／澤木会長出席 |
| | | 10日 | * 東京雄水会(秋田商業同窓会東京支部)総会／澤木会長出席 |
| | | 14日 | * 第13回東京秋工ゴルフ会コンペ／於 イトーピア栃木ゴルフクラブ |
| | | 19日 | * 秋高連委員会／澤木会長出席 |
| | 7月 | 15日 | * 秋高連全体総会／澤木会長他11名出席 |
| | | 18~20日 | * 秋田北空港開港一番機訪問団／澤木会長参加 |
| | | 28日 | * 幹事会／於 澤木事務所 |
| | 8月 | 22日 | * 秋田文化フォーラム(ひえばなの会)／澤木会長他有志出席 |

会計報告

●会計報告●

平成9年4月1日～平成10年3月31日

収入の部		支出の部	
*前年度繰越金	191,196	*総会費用 ・会場費(東京プリンス)・酒代 ・来賓接待・東京プリンス謝礼 他	362,558
*年会費 ¥3,000 × 162名	486,000	*総会準備費 ・総会案内、振込用紙等の印刷費 ・ハガキ・封筒・文具 他	68,000 118,700
*総会費 ¥7,000 × 42名(男)	294,000	*会報「金砂」制作費 ・版下代・印刷費(1000部) 他	210,000
*「KANASA」広告料 14件	140,000	*交際費 ・東海支部総会御祝儀 ・関西支部総会御祝儀 ・東京雄水会総会御祝儀	10,000 10,000 10,000
*総会御祝儀・秋田工業高校 ・同窓会本部 ・東京雄水会 ・秋田市東京事務所 ・東海支部	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	*諸会費 ・平成9年度分秋高連年会費 ・けやき会会費	10,000 10,000
*雑収入・澤木会長 ・幹事有志	42,000 45,000	*広告費 ・新春挨拶広告(秋田魁新報社)	31,500
*定期預金利息	358	*会議費・幹事会会食費/4回	161,821
		*諸雑費 ・振込手数料/年会費、会報広告料 ・幹事会案内、広告料請求事務費 ・東海、関西支部総会参加交通費	10,820 3,820 42,560
		*次年度繰越金	188,775
●収入の部合計	1,248,554	●支出の部合計	1,248,554

※本会計は現金主義の会計制度を採用していますので、未収未払は計上しておりません。

●上記の通り決算報告いたします。

平成10年8月31日

会長 澤木 誠一
幹事長 三平 俊悦

●適正のものとお認めます。

監査 佐々木 昭夫
監査 門馬 金初

平成9年度会計報告について

平成9年度においては、会費納付者数が前年比4名減とはなりましたが、不景気の現況を考えれば好結果であったと考えることができます。ご協力いただいた会員の皆様には改めて感謝申し上げたいと思います。最近では当同窓会の活動以外の様々な秋田関連の催しに同窓会組織としての関与が求められ、経費削減の努力の一方で、そうした催し及び活動への参加に要する交際費的な費用の支出が増えているなどの傾向がありますが、結果的にはほとんどで済ませることができたというのが平成9年度の会計結果です。そうした会の諸事情をご理解いただき、今後も会の活性化のためのご協力を宜しくお願いいたします。



V16を目指して!!

黒澤光弘

(昭55 機械科卒)

秋田工業高校ラグビー部監督

秋工同窓会東京支部の会員の皆様におかれましては、平素より本校ラグビー部に対し物心両面にわたり多大なご支援を戴き、厚く御礼申し上げます。

さて、平成10年度の大会と活動も終盤にさしかかっており、残る大会は全国大会秋田県予選(10月10日～10月15日)のみとなりました。現在までの戦績は公式戦無敗であり、8タイトル完全優勝(中央支部新人、全県新人、東北新人、東日本選抜大会、中央支部総体、全県総体、東北選手権、県民体育大会)と、安定した力を発揮しております。

今年のチームの目標は、個々の力を生かした15人一体となった縦への継続のラグビーであります。また、強固なディフェンス力(タックル)とフィットネス(体力)の向上を目指しております。そのためにも個々の基礎プレーの強さ、個々の意識レベル(全国優勝)を高く持つといった根本・原点を、チームにしっかりと浸透させながら、強化に励んでいきたいと考えております。

今後もOB会の技術指導を仰ぎながら、県予選突破はもちろんのこと、全国大会V16を目指し、部員一丸となって努力・精進し、全国大会終了後は東京の同窓各位に胸を張ってごあいさつに伺えるようにしたいと思っております。

<追記>

チームスタッフ・第5回東日本選抜大会報告

1. チームスタッフ

部長/小野浩作(昭37 機械科卒)

副部長/鎌田洋美(昭58 機械科卒)

監督/黒澤光弘(昭37 機械科卒)

コーチ/伊東真吾(平5 機械科卒)

部員数/62名(3年:18人,2年:24人,1年:20人)

2. 第5回東日本選抜大会(平成10年3月22日～26日)

一回戦 秋田工 64-0 近大附(大阪)

二回戦 秋田工 27-15 東農二(群馬)

準決勝 秋田工 40-12 佐賀工(佐賀)

決勝 秋田工 17 $\left(\begin{smallmatrix} 17-5 \\ 0-10 \end{smallmatrix}\right)$ 15 久我山(東京)



決勝戦メンバー

1	小玉 勝	(天王南)	2年
2	三浦 久直	(男鹿南)	1年
3	松橋 健	(五城目)	2年
4	保坂 豪	(将軍野)	1年
5	伊藤 智幸	(五城目)	2年
6	鎌田 忠義	(秋田北)	2年
7	佐々木尚仁	(秋田北)	2年
8	児玉 和也	(五城目)	2年
9	川村 功	(天王)	2年
10	笹 淵 稔	(男鹿南)	1年
11	夏井 努	(男鹿南)	2年
12	一宮 信悦	(男鹿南)	1年
13	佐藤 心	(秋田北)	1年
14	千田 寛典	(秋田北)	2年
15	田中 鉄男	(男鹿南)	1年



世界の中の秋田

河 正雄

ハ・ジョンウン

(昭34 機械科卒)

昭和34年卒業の有志が集まる「秋工34金砂会」。去る7月24日、昨年に続いてその会に出席するため秋田に向かった。その前日までソウルに居たが、韓国滞在中は連日集中豪雨で被害甚大、社会問題となる程であった。成田に降り立った日本の空も雨が、梅雨明け宣言はなかった。“こまち”で盛岡を過ぎ、田沢湖に入って久方振りの真夏の太陽を拝した。眩しい秋田の山河と田園は緑に輝き、自然のふくよかさは例えようがなく和んだ。

祖国韓国の経済はIMF管理下。日本はバブル崩壊後の経済不況下。空模様が一衣幕水を思わせ、社会情勢を暗示し鬱陶しい。韓国には病気を治す薬もないが、日本には入院代もあり余裕があるからか、心なしか日本の空が明るく爽やかに見えた。韓国経済の深刻さ故である。

その夜、会の二次会で繰り出した川反の街並は年々さびれ、灯りも往年の賑わいがなく淋しい。市内の目抜きには空地が目立ち、久保田城のお堀端にあるデパートやビルも閉まっていて元気がない。経済問題は個人の生活は言うまでもなく、国家の基幹と存在を揺がす。今や世界が密接に連鎖連鎖していることを痛感させられる。

1993年、田沢湖畔で開かれた「世界の中の秋田」というシンポジウムで、宮岡正道大潟村村長と出会った。琵琶湖に次ぐ八郎潟を干拓して日本のモデル農村を目指した村である。

「世界の変化に伴い秋田を活性化させたい。21世紀に向けた人類共通の願いであるクリーンエネルギーの探究をメインテーマにソーラーカー・ラリーを始めます。ぜひ見て下さい。」とお誘いがあった。その夜の懇親会で「宇宙との共存」「地球環境問題への関心を高める」「太陽とともだち」と、大潟村の建設を夢とロマンで語った。

翌7月25日、第六回ソーラー大会が開かれるというので大潟村を訪ねた。途中秋田港を通過した。

埠頭には碇泊船も少なく、閑散としていた。韓国からの船は秋田からの積荷は水だけと説明を受けた。

高校三年の夏、秋田市内の高校絵画連盟会員らと出戸浜で学生会を開き海水浴を楽しんだ。そのとき以来の八郎潟訪問であったが、八郎潟に浮かぶのどかな靄影と水平線の彼方にある空まで続く湖はどこにも見あたらなかった。秋田を代表し、日本が誇る美しい風景が幻のように消えてしまった。取り返しの出来ないおぞましく愚かな戦役に涙した。

出戸浜からの、男鹿半島、寒風山、鳥海山のパノラマは昔そのまま、悠然と自然の厳粛さを保っていた。

昨年のごと、「河さんの故郷である田沢湖周辺の発電所ダム工事などの、戦前の朝鮮人強制連行の調査をしているので係る史料や記録があったら調査に協力してほしい」と依頼されたことで、西成辰雄十文字町町長が秋田県朝鮮人強制連行真相調査団員であることを知った。しかし朝鮮人強制連行については、秋田県の資料を見ても「その実態は詳かでない」と記され、知る人は少ない。西成町長らの努力により、今年になって秋田県の情報公開によりその実態が一つ一つ明らかになりつつある。

秋田県では工場、事業所が26ヶ所で強制連行(官斡旋・徴用)が5,105人、その他合計6,759人の名簿が出たことで、今だに戦後処理問題が解決されず、課題となっているのである。

還暦に思うこと

鈴木彦之

(昭31機械科卒)

生まれてこのかた60年、ついに還暦の声を聞いてしまった。身体ではまだ若いと思っけていても、定まった年齢には勝てない。

この6月26日、還暦を記念に皆が仙台に集まり、MA31の同級会を実施した。秋田と東京方面から夫婦が3組、予定ではもっと出席するはずだったが、金曜日ということもあってかそれでも全員で20名が出席した。

宴会前、予定の時間にはまだ早く、ゼロ次会から始まってすでに盛り上がりは最高、出来上がってしまったのも数名、暫くぶりの再会に積もる話もつきない。

宴会が始まり、歌や踊りに手拍子にて、やんやの喝采。校歌や応援歌を歌いまくって大騒ぎとなってしまった。

同じ青春時代を過ごした仲間が、40数年ぶりに逢って、やあ!と言ってもそこは苦勞した人と身体を鍛えた人など、同じ年齢とは思えぬ顔があったのは当然と言えば当然かもしれない。現在でも社長職数名、議員の先生など、サラリーマンは定年という年代、孫も沢山、これからどうするの? ここが人生の折り返し点、そんな感じでまたの再

会を誓った同級会でした。

ところで人生80年、これから20年生きるとして、残された自由な時間は10万時間と言われている。なんとこの時間はサラリーマンが40年間働いた時間に匹敵するそうだ。

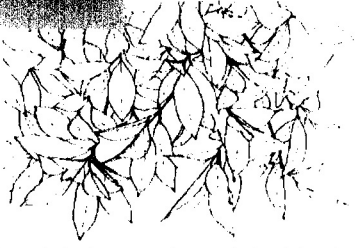
ボーとしていては、ボケがきてしまう。これからは定年も延びて65歳の時代になるであろう。年金も当然65歳に移行する。定年が来てからさて何をしようかでは、遅すぎる。

そこで私は16年前に考えたことがある。耳、目、指を使って出来る趣味に出会ったのだ。それが尺八だった。弟子入りしてから今も続け、やっと人に教えられるまでになった。

これをメシのタネには出来ないが、奥が深いので、後進の指導ができればと思っている。年に数回の演奏会、同じ目的の仲間が集まり、いろんな曲を演奏出来るのは、すばらしい事だと思う。

そして、何か他に社会のためになることができたなら、もっといいかな、とも考えている。折り返し点を回ったところで、パソコンなども含めマイペースでいろんな事に挑戦しようと思っている。





汽車通学の頃

—弁当の食べ方—



作者紹介

笹 淵 茂
東京秋工会副会長
昭和21年冶金科卒業
首都圏男鹿の会副会長
現在埼玉県戸田市在住

船川線(現在の男鹿線)の一番列車は朝が早い。冬などはまだ暗いうちから家を出なければならなかった。発車時刻に間に合うギリギリまで眠りをむさぼった。戦時中のこととて、登校時は家を出る時点から脚にゲートルを巻いてゆく決まりだった。

そのゲートルを巻く時間ももどかしい。たいていは足首に二三回申し訳ない程度に巻いて、残りを片手に持って全力で駅まで走ったものだ。重いカバン(その当時は背のうとこむずかしい呼び方をしていた)を背負いながら。

駅が見通せる直線通りに出ると、駅員が速く来いと手を振っているのが見える。その瞬間、ああ間に合ったとほっとする。発車時刻を遅らせて、待っていてくれるのだ。

そんな状況での汽車通学だったから、朝食など家で食べたためしがない。そこでその分は、いきおい昼食用の弁当のおよそ半分を車内で食べることと相成る。

冬の朝は、まだ暗いといっても、車内には電灯がついている。この明るさのもと、そして衆目の中でこのことでもあり、弁当食いには少々勇気がある。

ではどうしたか。当時の学生は金色夜叉(やしや)に出てくる寛一もどきのマントを着ていた。このマントを頭からすっぽりかぶってその中で食事を済ますのだ。

車内は石炭ストーブの熱で、けっこう暖かくなっている。弁当を開いた途端に「たくあんガッコ」のおいが車内に充満してくる。この香りががなんとも食欲を誘う。つれてあちらこちらにマントかぶりが出現するのである。あのガッコのおいは強烈であった。

ここまではいい。学校に着いてからが問題。正午近くになると各自、弁当をストーブの上に載せる。このストーブは、クラス全員の弁当を暖めることが出来る多段式構造になっていた。

ときおり生徒監が校内巡回にくる。生徒監とは

学生の品行を取り調べるおっかない先生のこと。ある日、その生徒監が常に持ち歩いているムチで弁当のフタを開けたのだ。その弁当には、すでに半分ほど食べた形跡がある。

「この弁当の持ち主はだれか!」

生徒監には“正義”に対しては絶対の権限があった。それに逆らうことなどとてもできない時代だった。

返事をしないと弁当を持って行かれてしまう。食糧難という時代背景もあって、一食たりとも食いそびれるわけにはいかない。

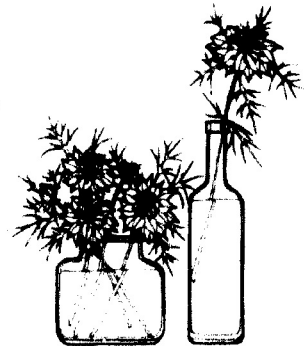
そんなことがあってから、しばらくはだれも弁当による朝食をとらないようになった。しかし食べ盛りの育ち盛り。窮すればなんとやら。そこに知恵者が現われた。

初めに弁当を軽く揺さぶってメシの締まりをよくする。次に弁当をひっくり返す。つまりフタ側にメシを載せるのだ。こうしてもととの底のほうから食べるのである。コツは水平にならしながら食べる。ほどよく食べたところで、また弁当をひっくり返せばよい。これでフタを開けても食べたあとがわからなくなるのだ。

なに? メシのカサが少なくなって、食べたことが見破られたのではないかだつて?

ななに、当時は食糧難。どこの家庭でも弁当箱にはメシをすかさず程度にしか入れないのが普通だったのである。

その後、何回か弁当のフタを開けられたことはあるが、生徒監は、「フム」とうなずいて帰ってゆくのであった。



ふる里から

越 澁 綾
(昭29 工業化学科卒)

秋田市在住

エルニーニョ現象とかで梅雨明けの宣言も聞かず、立秋に入った当地です。

夏の風物詩の竿灯。今年是不況に負けじと過去最多の232本の光の稲穂が夜空を舞う。

勇壮なお囃子の音と、「どっこいしょ」の掛け声と共に、短い夏を謳歌し一気に燃え尽き、久しぶりに興奮と感動に酔いしれ、華甲を過ぎた昨今です。

「少年老易く学成り難し」

女性の同窓の方に寄稿戴こうということでわざわざ秋田から、原稿をお送りいただきました。雑用とボランティアでお忙しいとのことですが、短い文章ではありますが、今年の竿灯祭の様子が浮かぶ内容です。ありがとうございました。



★平成9年度総会

平成9年度の総会は平成9年11月14日、例年通り東京プリンスホテルにて、母校校長、同窓会本部副会長、東海支部会長、東京雄水会(秋田商業同窓会東京支部)副会長他のご出席をいただき開催されました。

第一部総会は、会長挨拶、会務・会計報告、監査報告、来賓挨拶と進行し、第二部懇親会へと移り、最後に校歌を全員で斉唱して終了となりました。

平成9年度の来賓を除く総会出席者数は42名でした。ここ数年では最低の数となっています。

同窓会は数のみが全てではないことは承知していますが、会場にたくさんの同窓が集って、活気のある状態を作り出すことこそが会の将来的な活性化に繋がると思います。

平成10年度は、10月17日が総会となっております。多数のご参加を宜しくお願いいたします。

★東海支部・関西支部総会

本年度も、秋工同窓会東海支部及び関西支部よりのご招待があり、6月6日の東海支部の総会へは太田晋幹事(31M)が、6月7日の関西支部の総会へは澤木会長が出席されました。

両支部は例年同じ月の土日に総会を開催しており、土曜は東海支部、日曜は関西支部という取り決めの下に、互いの交流を図っておられるようです。また、総会へは夫婦同伴での出席を奨励しており、積極的に会の活性化を図っておられます。



★東京秋工ゴルフ会

総会以外にも同窓の会員が集える場を作ろうとの趣旨のもとに企画された、東京秋工ゴルフ会恒例のコンペも会を重ね、平成9年12月3日に第12回を、平成10年6月14日には第13回を開催いたしました。

多少不況の影響もあるのか、開催当初に比べると集まりの勢いがやや落ち加減ではありますが、登録者の数は60数名と、開催当初の倍に増えています。

ゴルフ会のこれまでを振り返ってみると、平成3年秋の第1回に始まり、平成6年の第6回を秋田の

同窓会本部と合同のゴルフコンペを椿台カントリーで開催。この年だけは年2回を1回だけの開催にしています。そして平成8年12月に第10回の記念コンペを開催と、会員諸氏の後押しもあり、着実な運営が行われてきています。

さて、次回コンペ(第14回)は本年11月くらいを予定しております。次回から参加したい或いはとりあえず登録しておきたいという方は、東京秋工会事務局(裏表紙記載)又は下記へご連絡下さいませようお願いいたします。

担当幹事:三平俊悦(39A)東京秋工会幹事長
連絡先/TEL:03-3345-8555(会)
大地住販内
TEL:044-852-0891(自)

★その他

平成8年度総会案内の返信ハガキ等で次の方のご逝去の連絡がございましたのでご報告いたします。

田中史郎 昭和13年機械科卒 平成5年1月ご逝去

以上のご連絡がございました。心からご冥福をお祈りいたします。

●記事、情報提供等のお願い

「金砂」に記事や情報をお寄せください。或いはご自分の研究されていることの発表の場としてご利用ください。秋工出身者であれば誰でもご利用いただけるのが「金砂」です。ぜひご協力ください。

連絡は裏表紙記載の事務局まで。



編集後記

船木一美
(昭48 機械科卒)
東京秋工会副幹事長

前号で、自分のことを初めて書いてみました。書き始めるとあれも書きたいこれも……と欲が出てきてしまう。そして思ったこと。同窓の皆さんの中に本当は書いてみたいけれど、時間がないとかいった様々な理由で実行できない人がけっこういるのでは。そうした方達にお願いします。KANASAも今回で6号、実は毎回記事集めて苦労しているというのが本当のところ。ですから例え原稿用紙1枚でも結構ですのでご寄稿ください。原稿はどういった形式でも結構です。文字数も制限いたしません。お名前と卒業年次と科名だけをお忘れなくしていただければ結構です。

できれば裏面に記載してある東京秋工会会報制作室宛ご郵送ください。FAX(03-3770-0077)でも結構です。宜しくお願いたします。

東京秋工会の総会は10月17日(土)です。ぜひご出席ください。幹事一同お待ちしております。

最後に、ご寄稿及び賛助広告にご協力いただいた方、並びに記事集め等にご協力いただいた太田先輩、小野先輩に心から感謝の意を表して、締めとさせていただきます。

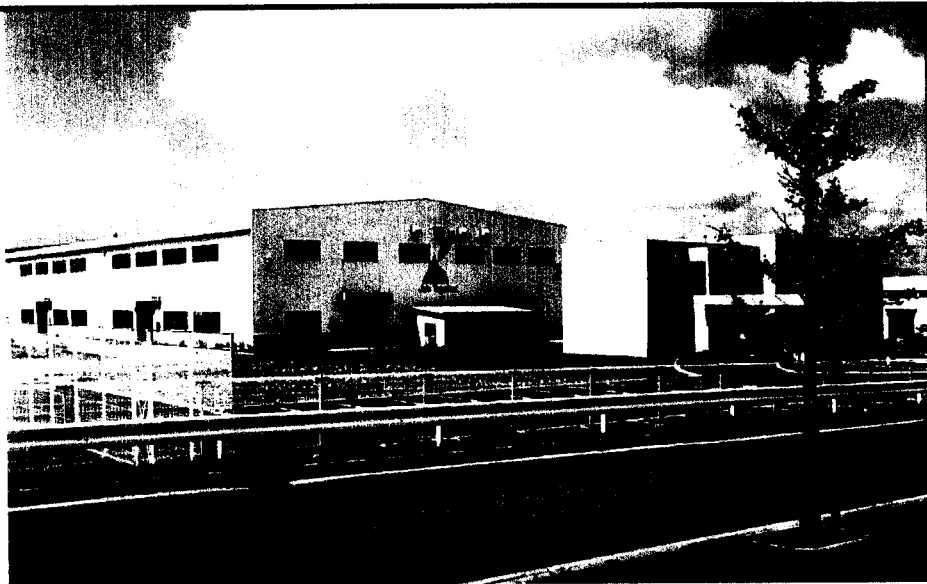
INFORMATION

東京秋工会役員 ※平成10年9月1日現在

会 長	澤 木 誠 一	26 E
副 会 長	笹 淵 茂	21 Y
	斉 藤 右 二 郎	26 M
	三 浦 満 夫	28 E
	遠 藤 幸 雄	30 E
	志 賀 英 一	31 K
幹 事 長	三 平 俊 悦	39 A
副 幹 事 長	小 野 鉄 雄	38 C
	船 木 一 美	48 M
幹 事	佐 々 木 武	29 M
	太 田 晋	31 M
	川 端 邦 夫	31 M
	佐 々 木 喜 代 枝	32 K
	加 賀 谷 健 治	36 E
	菅 原 富 男	39 A
	相 馬 洋 悦	40 A
	奥 山 恍	41 K
会 計 監 事	田 畑 敏 男	45 E
	染 谷 厚 子	47 K
	佐 々 木 昭 夫	25 M
	門 間 金 初	31 K

A-1

産業機械
 鑄造設備
 公害防止設備
 自動化設備
 設計製作



(秋田工場)

株式会社 五十鈴製作所 代表取締役会長 冨松 宗富 (昭17 電気科卒)
 (旧姓 大坂)

本社営業所 〒457-0058 名古屋市南区前浜通り3-21五十鈴ビル
 TEL (052) 823-2181(代) FAX (052) 823-2186
 碧南工場 〒447-8511 碧南市雁道町4-1
 TEL (0566) 48-1211(代) FAX (0566) 42-8040/42-9100
 秋田工場 〒010-1415 秋田市御所野湯本4-1-4
 TEL (0188) 26-1181 FAX (0188) 26-1182



Join Together.

B-1

TOKICO

快適な技術には、
 未来を夢見る力がある。

創立以来、トキコはつねに今日の結果に妥協することのない「チャレンジスピリット」を心掛け、技術開発に取り組んでいます。出会うたびに新しいフレッシュ・テクノロジーで産業界の発展に貢献しているトキコです。

- ショックアブソーバ・ブレーキ装置
- 流量計・制御装置●ガソリン計量機
- 塗装ロボット●小型空気圧縮機

多賀谷 励治
 (昭29 電気科卒)



トキコ株式会社

〒210-0005 川崎市川崎区東田町8 ハレックスビル
 TEL044-244-3126

B-2

省エネルギータイプ
 道路・地下道・歩道橋の融雪と凍結防止に
“ロードヒーティングシステム”を

橋 梁・車道に…面状発熱体方式
 玄関前・歩道に…融雪ブロック
 車 道・歩道に…ケーブルシステム方式
 消 火 栓 用 に…融雪ブロック

東北総代理店
 **千代田電気工業** 株式会社

代表取締役社長 小野地 謙 治
 (昭18機械科卒)

代表取締役専務 小野地 慎 一

〒010-0003 秋田市東通六丁目4番5号
 TEL:0188-33-5451(代)・FAX:0188-34-5539

A-2

タワークレーンの ogawa



株式会社小川製作所 代表取締役専務 川端邦夫
 小川リース株式会社 代表取締役社長 (昭31 機械科卒)

本社 / 千葉県松戸市松戸新田435-137川ビル TEL: 0473-65-8211(F) FAX: 0473-65-3273
 工場 / 千葉県印旛郡白井町名内330第2白井工場内 TEL: 0474-97-0765 FAX: 0474-97-1039

B-3

技術士・経営士 (コンサルタント)

浦井 技術士 経営士 事務所
(経営工学士) (生産)
 (U. E. M.) ←(略称)←

“気軽にご相談下さい”

所長 浦井 宗治

連絡先


〒207-0005 東京都東大和市高木3-419-3
 TEL: 0425-61-0740
 FAX: 0425-62-4557

(社) 日本技術士会登録専門事項
 生産性向上, 生産管理, QC, レイアウト
 仕掛及び在庫削減, 新製品新加工法体系
 標準化統合化, IE, VE, TPM
 付加価値経営計画, コストダウン

昭和12(1937)年 秋田工業高校機械科 卒

B-4

豊富な総合技術で 明日をめざす

 株式会社 東北機械製作所

取締役社長 佐藤鈴男 (昭30 採鉱科卒)

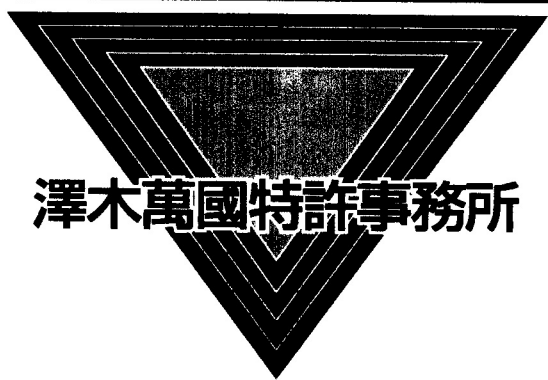
本 社 / 秋田市茨島1-2-3 〒010-0065 TEL: 0188-62-5541 (代)
 茨 島 工 場 / 秋田市茨島1-2-3 〒010-0065 TEL: 0188-62-5541 (代)
 FAX: 0188-62-5626
 向 浜 工 場 / 秋田市向浜1-3-1 〒010-1601
(大型物組立)
 東 京 支 社 / 東京都港区浜松町1-12-6 第一浜松町ビル3F 〒105-0013
 TEL: 03-3435-1701 (代)
 FAX: 03-3435-1715
 青 森 営 業 所 / 青森県青森市長島2-10-4 新藤ビル別館3F 〒030-0861
 TEL: 0177-22-5599
 FAX: 0177-22-5599

東北マテックス株式会社

取締役社長 村上透郎 (昭26 冶金科卒)
 ※秋工同窓会東北機械支部長

秋田市川尻若葉町6-1 〒010-0944 TEL: 0188-62-5271 (代)
 FAX: 0188-62-5295

B-5



澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願
侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 **澤木 誠一**
(昭26 電気科卒/東京秋工学会会長)
弁理士 **澤木 紀一**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-18-1 第10森ビル8F
TEL: 03-3501-0937 (代)
FAX: 03-3595-0059

B-6

IKI 株式会社 大岸製作所

建設機械部品の総合メーカー

本社 / 東京都足立区新田3-10-6
埼玉工場 / 埼玉県南埼玉郡白岡町上野田
山形工場 / 山形県西置賜郡飯豊町添川3514
米沢工場 / 山形県米沢市万世町片子5850-1

●主要取引先
日立建機株式会社
新キャタピラー三菱株式会社
三菱重工株式会社
株式会社加藤製作所

代表取締役社長 **佐藤 進** (昭32 機械科卒)

B-9

**地質・土質調査
土木設計・測量**



株式会社 **ジオ**

Geo Co., Ltd

代表取締役
佐々木 進
(昭40 探鉱科卒)

本社 東京都中野区中野1-27-1
三山ビル4F
〒164-0001
TEL 03 (3362) 3141
FAX 03 (3362) 3143

C-1

合板型枠材・合板足場材
断熱材・新建材・一般建築材
納材問屋
窪谷木材株式会社
代表取締役社長
窪谷 政二郎
(昭21 建築科卒)
〒120-0036 東京都足立区千住仲町14-2
TEL: 03-3888-1155 (代)
FAX: 03-3888-1145

C-4

このまちを環境よくしをめざして
不動建設株式会社
部長 **小野 鉄雄** (昭38 土木科卒)
課長 **鷲塚 勝幸** (昭39 土木科卒)
東京本社: 〒110-0016 東京都台東区台東1-2-1
TEL: 03-3837-6096

B-7

心 むすんで ひらいて 秋田

**財団法人
秋田観光コンベンション協会**

事務局 高橋 清 (昭38 機械科卒)

〒010-8621 秋田市大町四丁目4番21号
 観 光 TEL 018-824-8686
 コンベンション TEL 018-824-1211 FAX 018-824-0400 (共通)
 秋田市観光案内所 (JR秋田駅構内) TEL 018-824-7941
 URL: <http://www.from40.or.jp/~cba/>
 E-mail: cba@from40.or.jp

B-8

ドラゴンマンションの

DAICHI®

株式会社 大地住販

宅地建物取引業免許 建設大臣(3)第3740号
 〒229-0031 神奈川県相模原市相模原5-1-1
 TEL.0427-53-1155(代) FAX.0427-57-5010

企画開発事業本部 事業部長
三平 俊悦
 (昭39 建築科卒)

企画開発事業本部
 〒163-0023 東京都新宿区西新宿6-6-2
 新宿国際ビルディング5階
 TEL.03-3345-8555(代) FAX.03-3345-8013

C-2

オイレス工業株式会社系列会社
 (平成9年9月/一部上場致しました)

大平産業株式会社

<p>営業品目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オイレスベアリング ● ボール、ローラー、ベアリング ● ニードルベアリング ● ボールネジ ● ヒローブロック ● 油圧機構及び装置 ● 二酸化モリブデン系潤滑材 ● その他工業機器及び用品 	<p>オイレス工業株式会社 代理店 光洋精工株式会社 代理店 タイキン工業株式会社 代理店 日本ヒローブロック製鋼株式会社 代理店 住友潤滑剤株式会社 代理店</p>
--	---

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-11-2
 TEL: 06-541-0021(代) FAX: 06-531-5293
 東京営業所 / 〒111-0041 東京都台東区元浅草1-4-8 第2ウサギヤビル2F
 TEL: 03-5828-1731 FAX: 03-5828-1735

常務取締役 宮崎 吉彦
 営業部長 太田 晋 (昭31 機械科卒)
 東京営業所所長 渡辺 悟志

C-3

各種試験機・部品・検定器の製造・販売・修理
各種試験機・下取り・更生品の販売
日本計量士会・日本海事協会の検定申請・立会
電力単位表示(kgf)の試験機から
SI単位表示(N)の試験機への改造一式

株式会社 日本試験機製作所

〒146-0094 東京都大田区東矢口3丁目29番地1号
 TEL: 03-3732-1678
 FAX: 03-3732-1684

斎藤 靖宏 横田 忠
 (昭32 機械科卒) (昭32 機械科卒)

C-5

Total Planning Office

有限会社ティービーオー
 〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町
 7-7-0 Hビル301
 TEL: 03(5489)5024
 FAX: 03(3770)0077

船木 一美

(昭48 機械科卒)

プロダクトデザイナー
 プランニングディレクター

(有)ティービーオー代表取締役
FLPR (未来生活商品研究会) 幹事
 日光地区商工会議所エキスパートB 登録講師

- 商品企画・開発
- 工業デザイン
- 製品設計・試作
- 商業芸術企画・デザイン
- 販促企画・デザイン・制作
- CI企画・デザイン・制作
- 地域活性化企画・コンサルティング
- その他各種企画・デザイン関連

賛助広告にご協力下さい。

会報を出し続けていくためには、賛助広告への皆様のご協力が不可欠です。お願いを差し上げた節はご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

秋田比内地鶏専門店

やきとりから (300円) きりたんぼ鍋まで (1800円)

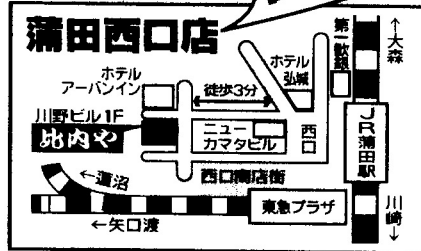
大盛況
御礼!

比内や

“食は文化なり”という信念をもって
秋田の食文化を東京へ、全国へ発進します。

私達のふる里、秋田は比内地鶏を初めとして、いなにわうどん、きりたんぼ鍋、しょつつる鍋、じゅんさい、とんぶり等たくさんの“旨いもの”がある珍しい県ではないでしょうか。

文化のあるところに食文化あり…秋田の高いレベルの食文化をもっともっと全国へ広めたいと思います。



☎ 03-3731-3115

PM5:00~11:30
(お電話2:00からお受け致します)

個室5室・全85席
席料・サービス料なし

(株)いなにわ

代表取締役 熊井春美 (昭43 機械科卒)

いなにわうどん仁井田本店・すたみな太郎

☎ 018(839)6718

比内や川反店・秋田藩 他 計8店直営

賛助広告にご協力いただいた企業及び同窓会員一覧

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| A-1 (株)五十鈴製作所 富松宗富(17E) 東海支部 P11掲載 | B-7 (財)淑光コンベンション 高橋清(38M) 同窓会本部 P14掲載 |
| A-2 (株)小川製作所 川端邦夫(31M) 東京秋工会 P12掲載 | B-8 (株)大地住販 三平俊悦(39A) 東京秋工会 P14掲載 |
| A-3 (株)いなにわ 熊井春美(43M) 同窓会本部 本頁 | B-9 (株)ジ オ 佐々木進(40S) 東京秋工会 P13掲載 |
| B-1 トキコ(株) 多賀谷励治(29E) 東京秋工会 P11掲載 | C-1 窪谷木材(株) 窪谷政二郎(21A) 東京秋工会 P13掲載 |
| B-2 千代田電気工業(株) 小野地謙治(18M) 同窓会本部 P12掲載 | C-2 太平産業(株) 太田晋(31M) 東京秋工会 P14掲載 |
| B-3 浦井技術士経営士事務所 浦井宗治(12M) 東京秋工会 P12掲載 | C-3 (株)日本試験機製作所 横田忠(31M) 東京秋工会 P14掲載 |
| B-4 (株)東北機械製作所 佐藤鈴男(30S) 同窓会本部 P11掲載 | C-4 不動建設(株) 小野鉄男(38C) 東京秋工会 P13掲載 |
| B-5 澤木萬國特許事務所 澤木誠一(26E) 東京秋工会 P13掲載 | C-5 (有)ティーピーオー 船木一美(48M) 東京秋工会 P14掲載 |
| B-6 (株)大岸製作所 佐藤進(32M) 東京秋工会 P13掲載 | |

以上17社(名)のご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

東京秋工会会報

KANASA

金砂

VOL.6

1998年9月15日発行

発行 東京秋工会本部・事務局
東京都港区虎ノ門1-18-1第10森ビル8F
澤木萬國特許事務所内
電話：03-3501-0937

発行責任者 澤木誠一(東京秋工会会長/26E)

編集・制作 東京秋工会会報制作室・第2事務局
東京都渋谷区鶯谷町7-7 O.Hビル301
(有)ティーピーオー内
電話：03-5489-5024

制作管理責任者 三平俊悦(東京秋工会幹事長/39A)

編集・制作担当 船木一美(東京秋工会副幹事長/48M)